



和水

田丁

特别賽護老



















した。

町 ホ ムペ ージに概要を掲載しています。

## **計画についての経緯きくすい荘の建替え**



月号でお知らせしました。 して建替えを計画していることを広報なごみ4 きくす い荘は、 令和8年度の供用開始を目指

話の機会として町内の主な公共団体に事業説明 を行いました。 そこで、 その計画について、 町民との直接対

期建替えを望む声が多く聞かれました。 会等の合計7団体で、 でした。その中では、 商工会、民生委員会、 建替えの反対はなく、 参加者は合計で22 老人会、 区長会、 婦人 早

たり4月下旬には、民間事業者との対話を通じまた、今後の町の建替え方針を決定するにあ を目的としたサウンディング型市場調査を実施 て、事業をより良いものにするための情報収集 し、民間事業者6者と意見交換を行ったところ

確保が一番の課題である。」等の意見が出されま 将来の人口推計を考えた施設規模の検討と人材 択肢がある中で、 に経営困難となる恐れがある。町民のニーズと 「現在、 入所施設も有料老人ホー 特別養護老人ホ ームは将来的-ム等多くの選

は、 ※民間事業者からのサウンディング型市場調査結果

> Q&Aでまとめました。 №Aでまとめました。 ※Qは問い、Aその中で多く質問があった内容につい Aは答え て、

#### 【入所定員等について】

現在の長期入所者は何人ですか?

Q 2 きくすい荘入所の和水町の方の割合は? 81人です。(令和5年4月末時点)

8割程度が和水町の方です

らいの差がでてくるのか? 現在の特養と新しい特養は、 定員にどれく

10人、デイサービス30人 (計画定員) ※最大長期入所8人、 (現在定員)長期入所1 Ō 短期入所 短期入所

できる施設の合計は357人分あります。 ※ちなみに、きくすい荘も含めた町全体の入所 ※計画定員は、今後縮小する可能性があります。 6人、デイサービス20人

【民営化後の入所について】

Q

### なるのではないか? 民営化後に町民優先で入所するのは難しく

先して入所させたいという要望は反映して いきたいと考えています。 民営化後も町内の施設であるので、 町民優

 $\frac{Q}{2}$ スケジュー ル通りに民営化できるのか?

A 2 るかは、 に民営化を考えています。それが実現でき 現段階のスケジュールでは令和13年度まで 人員確保が大事だと思っています。

か?公営が安いのではないか? 民営化後の入所費用は高くなるのではない

ので、 険制度で決まっていて、 己負担割合も同じですが、 負担の差が います。 ただし、 特別養護老人ホ 公営も民営も同じ値段です が「1割、2割、3割」となってロも同じですが、所得に応じての介護保険サービス利用料金は自 2割、 ムの基本料金は、 全国一律です。 です。なの一方で

また、 利用料金の差は、 介護サービス事

業の内容で多少異なります。



【民営化後の職員等の処遇について】

うことになると思うがそのあたりはどうな るのか? 民営化ということは、 現在の職員は職を失

で、今後、 ながら決めていきます。 職員の身分保障はしなければならない ル ールに基づき職員と話し合 () ()

## 【施設の建替えについて】

面積的には狭いため、 な規模のきくすい荘の建設は可能なのか? 今の規模よりも縮小する計画です。 現在のきくすい荘よりも建設予定地の広さ ちょっと狭く感じるが、 2階建てか、 今と同じよう 3 階建 確かに

## 【施設建替え後の経営等について】

てになるような計画です。

## のか? 民営化する時に建設費用と赤字はどうする

する時は、 建替え後も赤字は続きますので、 を算出する必要があると考えています。 る方向で考えています。 赤字は、町からの補填で累積赤字はない 不動産鑑定を行い、 。また、 残存価格分 実際に売却 民営化す が

# 何故、民営化をしなければならないのか?

金で補填してもらっています。 ています。 の税金を使って穴埋めをしている状況です。 現在、きくすい荘の経営は毎年赤字となっ 町営なのでその赤字分を町のお いわば町民

> ることをご理解いただきたいと思います。 を継続していくためにも民営化が必要とな 設を建替えても変わりません。今後、施設 率95%となっています。これは、 で経営していますが、 の社会福祉法人は人件費率を65 その赤字の一番の要因は人件費です。 きくす い荘は人件費 75%程度 新しく施

ご理解とご協力をお願い 様からの信頼を得られるように努めますので、 様からの言質させる終の棲家として、町民の皆が安心して暮らせる終の棲家として、町民の皆が安心して暮らせる終の棲家として、一段を誰も します

#### 整備スケジュール 令和5年度 令和4年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 用地取得 地質調査 土地造成 建築 第1四半期供用開始 供用開始 既設解体

**5** 広報なごみ 2023 July